

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	医療政策課医師確保対策室長 安食 治外	電話番号	0852-22-6786
----------	---------------------	------	--------------

事務事業の名称	へき地等の医療機関を支援する事業		
目的	(1) 対象	へき地診療所及び地域医療拠点病院	
	(2) 意図	へき地診療所の機能を維持すると共に、地域医療拠点病院のへき地での診療活動を継続させる。	
事業概要	へき地診療及び地域の巡回診療などを行う地域医療拠点病院の運営支援に財政支援し、離島や中山間地域にある無医地区等の住民の医療確保に努める。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	支援対象へき地診療所数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	支援対象へき地診療所数	目標値		5.00	5.00	
			実績値	5.00	5.00	5.00	5.00		
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	支援対象へき地診療所数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	55,692	60,618
うち一般財源(千円)	19,998	21,097

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

目標である5つのへき地診療所へき地診療所の運営を財政支援した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

地域医療拠点病院やへき地診療所の運営を財政支援し、離島や中山間地域にある無医地区等での医療を確保できた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
高齢化、過疎化が進む中、へき地における診療所の存続、無医地区の診療の確保が求められる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
へき地診療所や地域医療拠点病院の活動は収益的に厳しく、かつ医師を中心として医療従事者の不足により、医療機関の機能低下につながることも、経営にも悪影響を及ぼす。
- ③原因を解消するための「課題」
高齢化、過疎化が進む中、へき地診療所や地域医療拠点病院の役割は大きい、中山間地域の病院は引き続き医師不足であり、また診療所においては高齢化やその後継者の確保が困難となるなど、診療体制を確保することが課題

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

へき地診療所や地域医療拠点病院の診療体制を確保、維持していくためには医師をはじめとする医療従事者確保の取組が引き続き重要である。また、地域医療拠点病院をはじめとして地域の中核的病院による支援体制の構築などの取り組みを支援していく必要がある。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）